



絆を深めて明るく年を

「そこをくぐらせて」と藤森生男さん(松南地区：写真左)は、社協で運営する南部児童センターで児童にしめ縄の作り方を伝授。もくもくと集中して取り組む子どもたちの姿を見守り、質問に優しく応えるなど、ほのほのとした交流のひとつを過ごしました。

「絆」の大切さが再認識されている今、世代を超えた交流活動を通して、子どもと大人がふれあい、かかわりあえるような地域づくりを進めていきましょう。

- ・第2次地域福祉活動計画について……………2P
- ・読み聞かせを通して子育て支援……………3P
- ・成年後見制度、関心高く……………3P
- ・しいのみ学園が開設40周年を迎えました……3P
- ・福祉まんが「あいちゃん」……………3P
- ・ボランティア情報「こてまり」……………4～5P
- ・平成23年度日赤社資募集のお礼と報告……………6P
- ・介護者の集い参加者募集……………6P
- ・社協の活動をブログでご覧ください……………6P



発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000
 編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239
 E-mail: syakyoun@avis.ne.jp http://www.syakyo-matsumoto.or.jp

地域の絆を深めるために ～第2次地域福祉活動計画～



松本市社会福祉協議会が策定した第2次地域福祉活動計画（平成23年度～27年度までの5カ年計画）は、地区、町会という日常の生活圏域で、地域住民の皆さんが推進する共助（助けあい）の福祉活動を支援し、その強化・充実を図るものです。

地域の皆さんが地区別に策定した地域福祉計画（行政計画）を、地区別の地域福祉活動計画（社協計画）としても位置付けさせていただくことで各地区の計画を一本化し、地域の皆さん・社協・行政がそれぞれの役割を担いながら協力して推進できるようにまとめたものです。

平成23年6月30日には松本市でも震度5強の地震に見舞われるなど、身近な地域で災害が発生しています。地域を基盤とした住民主体の福祉活動を日頃から進めることで、地域の絆を育み深めていくことが災害時等を含めて一層重要となっています。

松本市社会福祉協議会は、地域の皆さんとともに地域福祉活動計画の推進に努めてまいります。

〈計画のあらまし〉

1 基本理念

- 誰もが安全・安心に暮らすことのできる福祉のまちづくりを進めます。
- 住み慣れた地域で、お互いが支え合い、地域に貢献する社会の実現をめざします。

2 基本目標

- 地域を基盤とした住民主体の福祉活動を推進します。
- 見守り安心ネットワークやボランティア活動など、様々な分野の連携により総合的な地域づくりを推進します。
- 共に支えあう地域づくりをめざし、共助・公助の連携を進めます。
- 住民、社協、行政がそれぞれの役割を担う協働関係を確立するとともに、地域福祉推進のため、積極的に支援する体制を整備します。



3 基本方針

- 地域福祉の基盤づくり
- 町会福祉の推進
- 健康な地域づくり
- 地域の高齢者、障害者、子どもの支え合いづくり
- 安心して暮らせる地域づくり

重点事業！

○地域福祉の推進体制づくり

社協がしっかりサポート 〈推進体制〉



地域（地区） 住民の役割	【地域福祉の推進主体】 住民が 地域福祉の推進主体 として、市及び社協と連携し地域福祉の推進を図ります。
市社協の役割	【地域福祉推進のサポート】 市社協は、地域福祉推進の中核団体として、地区社協及び住民組織と連携を密にし、 推進のサポートとともに民間の福祉サービスやノウハウを提供 します。
市の役割	【地域福祉推進の支援】 市は、 保健・福祉等の公的制度による福祉サービスや各種行政施策とともに、地域福祉推進のための総合的な支援 を行ないます。

○地域の見守り体制づくり

（見守り安心ネットワーク体制づくりの推進や災害時要援護者登録制度との連携）



特に、地域包括支援センターからの相談では、制度利用が必要であるが、結びつけることが困難な事例が増加しています。

2 法人後見受任状況

成年後見制度利用が必要であるが、成年後見人の候補者が不在の場合に、社協が成年後見人になる「法人後見」を、平成23年11月末までに2件受任しました。

3 成年後見制度についての啓発事業

10月29日に、真打ちの講談師 神田織音さんの成年後見制度の講談と、成年後見制度のシンポジウムを併せて行ない好評でした。

判断能力が低下している高齢者等の実話を題材とした講談と、シンポジウムを聞いていただき、約300名の参加者に同制度についての理解を深めていただきました。

読み聞かせを通して子育て支援

～地域づくりに活躍する豊嶋さん～

おはなしグループ「すがのつくる」代表の豊嶋さおりさん(笹賀地区)は、空港図書館のおはなしひろばで、季節にちなんだ絵本や紙芝居を読み聞かせています。ゆっくりとした口調で手遊びを交えながら絵本の楽しさを親子に伝えました。

この日参加した母親は「毎回、子どもと楽しんでます」「他の親子と親しくなり、育児の話もできて貴重な場です」と大変喜んでいました。

また、梓川児童センターでのおはなしの会では、約90人の児童を前に絵本の他、クイズをおり交ぜたパネルシアターで子どもをとりこに。児童は「1人でたくさんの登場人物の声を出してスゴイ」「クイズのあるパネルシアターで、友だちと一緒に答えて楽しかった」と興奮気味に話していました。

「松本に越してきた時は、親しい人もいなかったけれど、本が私といろんな人や地域をつなげてくれました。今度は私が本と人をつなげたい」と、図書館や福祉ひろば、小中学校などで精力的に活動しています。

町会での子育て支援や、障害や病気のある子どもへの読み聞かせを通して、発達支援などにもかわり、多方面にわたって地域づくりに貢献しています。



成年後見制度、関心高く

社協の「支援センターかけはし」に相談あいつぐ

1 相談状況

社協が運営を始めた平成23年4月以降、11月末までに429人の相談を受けました。

傾向として、認知症高齢者についての相談が多い状況です。

相談は、親族からのものが最も多く、次いで地域包括支援センターとなっています。



講談で分かりやすい制度説明

しいのみ学園が開設40周年を迎えました

社協で運営しているしいのみ学園は、心身に障害をもつ子どもたちがお母さんと一緒に通園し、個別訓練、集団保育、園外保育など様々な体験を通して心身の発達を促す療育を行なっている施設です。昭和46年に開設されてから、270名余りの方が学園を巣立っています。

11月5日には、40周年の記念行事が開催され、多くの卒園生や家族、関係者などが集まり、学園の卒園生もメンバーとして活躍している「楽団 ケ・セラ」の皆さんの演奏を楽しみ、旧交を温めました。



3 これからも、生きる力を育む“はじめての一歩”の場所として、また卒園生にとっては“心のふるさと”としてあり続けられるように、さらなる療育の充実に取り組んでいきます。

ボランティア情報 こてまり

- 「こてまり」はこんな情報を発信しています！ * * * * *
 - ボランティア活動についての情報・活動者、団体の紹介・講習会や行事などの紹介
 - 問い合わせ/記事掲載の申し込み * * * * *
- 松本市社会福祉協議会内ボランティアセンター TEL25-7311 FAX27-2239



**2012年
ことしもよろしく
おねがいします**



有償ボランティア「かかわり隊」～四賀地区のとりくみ～

四賀地区では、ふだんからの住民同士のつながりや絆をより高めようと「かかわり隊」が活躍しています。高速バスや地域デマンドのバス停までの送迎や、重いゴミ出しや窓ふきなど高齢者にはちょっと大変な事を支援する「かかわり隊」登録者の皆さんが現在34名います。地区内の高齢者等の皆さんに「かかわり券」という券を1枚500円で買ってもらい、1回ごとに関わってもらった隊員に券を渡し、「かかわり券」を使いながら地域の活性化をめざしています。「ちょっとしたお手伝いでも、お願いするのに無償だと申し訳なくて」と感じていらっしやる方も多し中、お手伝いする方もされる方も気兼ねなくできる、そんな「かかわりの輪」が広がっています。

いざという時の防災力は、日頃の地域力といわれています。地域力は、ふだんの住民同士のかかわりがあってこそです。今後「かかわり隊」のみなさんの活動は、地域力のアップに向けて大きく期待されています。



お手伝いしながら
会話も弾みます



広がる傾聴ボランティア～つきあい上手は聴くことから～

相手のお話を心から受け止めてお聴きすることでできるボランティア「傾聴ボランティア」が広がっています。人は誰かと話すことで気持ちが軽くなったり、前向きになれるものです。また、明るい気持ちに変われることもあります。聴き上手になれることで、よりよい人間関係を築きながら地域に密着したボランティア活動をめざしています。

今年も初級講座は30名以上の皆さんがご参加くださいました。実習を経て、地域の施設や在宅へ活動を広げていきたいと思ひます。



「会話は聴き手がポイント」と山田講師

在宅での傾聴活動



傾聴グループ「クレヨン」の高柳さんと鶴田さん。以前、この講座を受講されグループで活動しています。今は、独居（女性）の方のお宅に月2回ほど訪問しています。あまり気負わず、その方の気持ちに寄り添いながら継続しています。



傾聴ボランティアご希望の方は・・・

傾聴ボランティアさんに来てほしい、自分もそんな活動がしてみたいなど、傾聴ボランティアに関心のある方は、ボランティアセンターにお問い合わせください。

こころを育む 福祉学習報告



「UD（ユニバーサルデザイン）を考える」～奈川中学校～

UDは、「障害」の有無ではなく、国籍や年齢などを越えて誰もが使いやすいことを基準に考えられたもの。普通に店に並ぶ商品の中にもUDの考え方を取り入れたものがたくさんあります。

奈川中学校では、グループで「この商品はどこがUD？」と考えたり、UDの理念を基にした商品開発に取り組みました。高齢者の買い物難民のために「動く歩道」を考案したグループもありました。地区の課題を中学生も共有していて、そのための対策に取り組んだのです。



みんなに優しい商品の開発

制度や仕組み、建物設備など「町のUD」、道具や食品など「物のUD」、そして、まわりに目を向けて困っている人に声をかけたり、高齢者や障害をお持ちの人、外国人などの気持ちを理解しようとする「心のUD」、それぞれの「UD」によってすべての人が暮らしやすい社会をめざすのです。

「防災ワークショップ」～安曇小中学校～

安曇小中学校では、普段実施している避難訓練のほかに、「災害」に対する意識を高めるため防災ワークショップを体験しました。

学校では訓練するけれど、家ではやっている？ 備蓄品は大丈夫？ ……意外に忘れがちなものです。今回は、児童生徒をグループに分けて「3日間生きぬくために」持ち出すものを考えるワークをしました。グループごとに家族という想定で役割をつくり、お父さんやお母さんのほかにお年寄りや赤ちゃんや、ペットのいる家族もありました。

「お年寄りがいれば、常備薬が必要だよ」「赤ちゃんがいればオムツがいるね」「お水は絶対！！」
 いろいろな意見が出てとても盛り上がっていました。



「何を持ってく？」

このワークを通して、「非常持ち出し品は家庭によってそれぞれがちがうものだけど、災害が起きてからでは間に合わない。普段から準備することが大切だと思った」という感想がでていました。

家庭でも「備えあれば憂いなし」

「救急法を学ぶ」～鎌田中学校～

鎌田中学校では、選択授業で「救急法」を学びました。松本でも6月には震度5強の地震が発生し、緊急事態はいつ来るかわからないものです。中学生も、いざという時のため心肺蘇生法や、AEDの使い方を学び、住民同士の助けあいに協力できたら素晴らしいことです。

また、日頃から起きやすいケガの手当ても、三角巾を用いて練習しました。



お知らせ：ボランティアセンターが協力します！

小中学校で福祉学習を実施する際は、ボランティアセンターが協力します。車いすやアイマスク体験、点字や手話を教えてくださる方の紹介や、ワークショップ・ゲームなど、児童生徒の思いやりの心を育てるために、先生方と相談して進めていきたいと思えます。ぜひご相談ください。



予告！

平成23年度 松本市ボランティア交流集会

期日：平成24年2月4日（土）

時間：（受付9時半）10時～15時半

会場：松本市総合社会福祉センター

内容：第1部 ボランティア活動発表
賑やかなステージです

（お昼：恒例のパンやカレーの販売あり）

第2部 講演「災害ボランティア」

被災地でのボランティアの活動ってどうすればいいの？ 情報はどこから得れば？ など災害ボランティアに関する講演会を予定

*テーマ

「自分のため、そしてだれかのために」

みんな
来てWAN!





日赤社資へのご協力、ありがとうございました！ 社資募集の実績額 30,074,456円 (平成23年5月1日～11月末現在)

(平成23年度◆目標額39,426千円 ◆実績額30,074千円 ◆達成率 76.3%)

日赤松本市地区では皆さまからいただいた社資を、地域におけるさまざまな事業に活用させていただいております。救急救命法・幼児安全法・健康生活支援講習など健康や安全を守るための講習会、災害に備えた地区・町会での炊き出し訓練等です。



- 市地区・35分区事業へ 5,413千円(18%)
- 長野県支部活動へ 災害救助、医療事業、青少年赤十字地域奉仕団育成等 20,150千円 (67%)
- 本社事業費へ 被災地支援、国際救援活動等 4,511千円(15%)

介護者の集い参加者募集中

日時	会場	内容	申し込み締切日
平成24年2月17日(金) 午前10時～午後3時30分	美ヶ原温泉	・介護者の交流、懇談 ・健康相談 ・つぼマッサージほか	平成24年1月27日(金)

- ◆ 対象者：現在、在宅で要介護高齢者（要介護度1以上の方）を介護している松本市在住の方
- ◆ 定員：15名
※1世帯につき1名の参加で申し込み多数の場合、新規の方を優先させていただきます。
- ◆ 参加費：1,000円



申し込み・問い合わせ
松本市社協地域福祉課
電話 27-3381
FAX 27-2239



社協の活動をブログでご覧ください！

12月1日から松本市社協ホームページをリニューアルし、各部署の活発な取り組みをブログで紹介しています。

また、トップページも更新状況が一目で分かるデザインに一新しました。是非、ご覧ください！



ホームページアドレス

<http://www.syakyo-matsumoto.or.jp/>



「社協まつもと」はみなさんからの共同募金の配分金で発行されています。